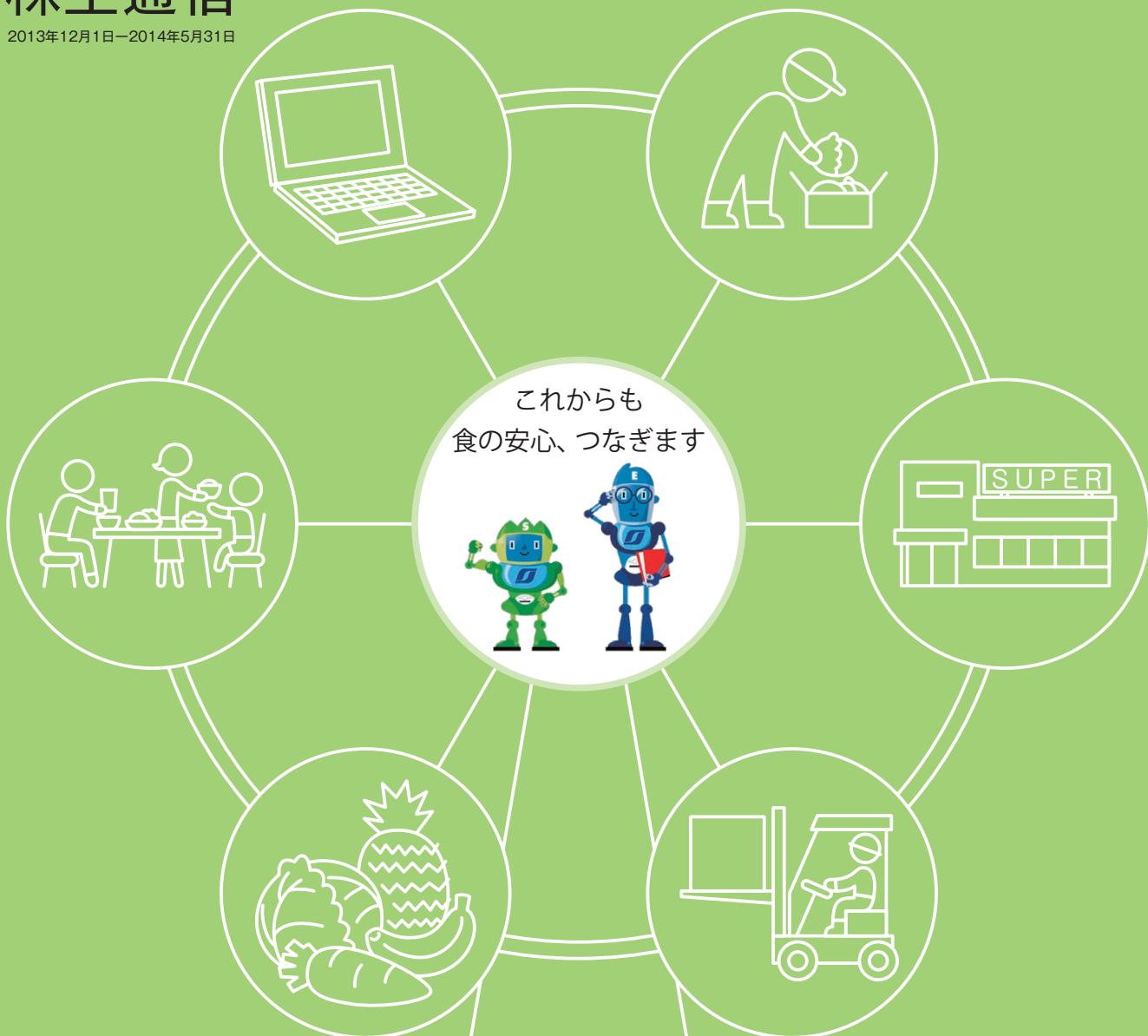


第17期 中間

 イーサポートリンク株式会社

# 株主通信

2013年12月1日～2014年5月31日



証券コード 2493

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
第17期中間「株主通信」をお届けするにあたり謹んでご挨拶申し上げます。

我が国の経済は、企業収益や雇用情勢に改善傾向が見られるなど、景気は緩やかな回復基調にあると推察されます。生鮮青果物流通業界では、小売業の食料品販売額が概ね前年並みとなり、また国内IT関連投資も前年を上回る水準で推移いたしました。

このような状況のもと、第17期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主にシステム事業における運用保守費や減価償却費の減少などにより、売上高21億84百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益3億56百万円（同11.4%増）、経常利益3億61百万円（同13.1%増）、四半期純利益1億88百万円（同19.8%増）となりました。

なお、2014年11月期通期の業績予想につきましては、当社グループを取り巻く生鮮青果物流通業界の環境が依然として不透明なため2014年1月14日に公表しました予想数値を据え置いております。

当社グループは、第17期を将来に向けた持続的成長の「礎」を築きあげる期と位置づけており、イーサポートリンクシステムVer.2の開発、生鮮MDシステムの導入拡大、研究開発活動のほか、戦略性を高めるための組織変更を行い、営業機能の集約による効率的な営業活動を実施し、新規顧客獲得に努めております。また、国内で構築した生鮮流通のサプライチェーンを成長著しいアセアン諸国へ展開する事業の研究も進めており、独立行政法人国際協力機構（JICA）が行う「民間提案型普及・実証事業」を2013年9月よりフィリピン共和国において展開しております。

このように、当社グループがこれまで培ってきました生鮮流通における強みを活かしながら成長を目指してまいります。

なお、ご好評をいただいております株主優待につきましては、引き続き年2回実施を継続いたしますとともに、通信販売でもご購入いただけるようになりましたので、ご活用いただければ幸いです。

株主の皆様におかれましては、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 堀内 信介

## ご質問・疑問にお答えします

当社事業に関して寄せられるご質問・疑問をまとめて解決します！

### そもそも、イーサポートリンクって何の会社なの？



イーサポートリンクは、生鮮流通を効率化させるためのシステムを構築・提供している企業です。当社は、生鮮流通に精通した強みを活かし、独自の発想でシステム化し、生鮮品のトレーサビリティ※を実現させました。生活者の皆さんに新鮮で安心な商品をお届けすることに貢献しています。

※商品の情報追跡

### イーサポートリンクのシステムを使うとどう変わるの？



当社のシステムを使うと、商品の受発注から加工、仕分け、配送とその後の決済に至るまで、生鮮流通にかかわるさまざまな工程を一つのシステムで管理できるようになります。システム上で流通全体を管理できるので、電話やFAXで行っていた煩雑な事務処理や手書伝票を廃止できるなど、コスト削減にもつながることができます。さらには、事前の計画が立てられるようになり、商品のムダなどを最小限に抑え、新鮮な商品を安定して供給できるようになります。

### なぜ生鮮品をシステム化しようとしたの？



工業製品や加工品※というのは、統一の商品コード（JANコード等）で管理されているので、番号を入れると、注文通りのものが入荷されます。しかし、生鮮品は、商品コードが統一化されていないので、商品調達が容易ではありません。

そもそも、生鮮品は特有の事情を持っています。産地やサイズ、等級、栽培方法といった、「属性」といわれるものが多岐にわたります。さらに、生鮮品はいわば“生き物”ですので、流通の過程でキズがついたり腐敗したり、また天候などによっても入荷が大きく左右されるのです。

商品管理をシステム化している企業は、独自のシステムと商品コードを使って受発注を行っています。システム化していない企業は、受発注を電話やFAXで行い、手書きの伝票を用いているのが現状です。それぞれの企業がそれぞれのやり方で情報を伝達しているため、事務処理に時間や手間がかかって間違いが起りやすく、効率が非常に悪い状態です。こういったさまざまな現状をふまえ、当社は、システム化が難しい生鮮流通を効率化するために、システム化により流通全体をサポートする必要があると考えたのです。

※工業製品：ボールペン、プラスチック容器等  
加工品：缶詰、インスタントラーメン等

## イーサポートリンクには、 どんなシステムがあるの？



大きく二つのシステムがあります。  
一つは、当社の基幹システムである「イーサポートリンクシステム」です。商品の販売計画から実績状況までの情報を一元管理できるシステムです。統一のコード体系でデータを管理することで、どの産地の商品が最終的にどれだけ売れたかという情報を毎日明確に確認できるようになります。一つの流れで管理することにより、業務負担の軽減や、品質管理を容易にし、さらには食の安全に大きく貢献するトレーサビリティを確立できます。

もう一つが、「生鮮MDシステム」です。小売・スーパーの仕入担当者の商品調達を支援するシステムです。日々の仕入情報がシステム上で管理できるので、販売状況に合わせた仕入れが可能となります。売れ残りや欠品を減少させることで商品調達のムダを最小限に抑えることができ、さらには商品の調達戦略を組むこともできます。



どちらのシステムも、生鮮流通に携わる皆さんにさまざまなメリットを感じていただいています。

## どんな人達が使っているの？



イーサポートリンクシステムは、輸入青果物を中心に扱う主要クライアント企業が採用しています。バナナ、パイナップル、キウイなどの供給に携わる一連の企業（生産・加工・中間流通・配送）にご利用いただいています。



生鮮MDシステムは、全国展開している大手量販店（小売・スーパー）とその取引先に採用され、農産、水産、畜産部門を中心に導入が進んでいます。今後は、デイリー／デリカ<sup>※</sup>など、その他食品部門への導入拡大を目指しています。

<sup>※</sup>デイリー：豆腐、納豆等    デリカ：弁当、惣菜等

## 生産者が使うシステムはあるの？



生産者の皆さんが、生産履歴を管理できる「農場物語」というシステムがあります。農産物の栽培計画段階で使用する農薬のチェックができるシステムで、農薬の誤使用を事前に防止でき、農薬の使用リスクを最小限に抑えることができます。また、栽培情報などの公開機能があるので、小売・スーパーが生活者向けに農産物の栽培履歴を公表し、販売促進の道具として活用されています。生活者の皆さんに、安全・安心な商品をお届けすることに貢献しています。

## 業務受託事業って、 現場での作業を代行しているの？



いいえ。商品の受発注から手配、入金済みまでの作業を、生鮮流通に携わる皆さんになり代わり、システムを使ってオペレーション作業を行っています。単なるコールセンターと違い、生鮮流通を知り尽くしたプロのスタッフにより、リアルタイムな商・物流管理を実現しています。生鮮流通に携わる、どの業種の人達にもサービスの提供ができます。ご利用いただく皆さんは、本業に注力することができるほか、経費削減へつなげることができます。

## 既存事業の他に 取り組んでいるものはある？



中長期的な成長に向けた研究開発にも積極的に取り組んでいます。  
JICAが行う「平成24年度外務省委託事業の案件化調査」に「農産物流通IT導入事業」で応募し、採択され、続いて「民間提案型普及・実証事業」を2013年9月からフィリピンで開始しています。現在、フィリピンの農協や生産者に当社のシステムを導入し、農産物流通の効率化を目指して実証事業を行っていると



行っているところです。今後は、アセアン各国に対しても調査・研究などを行っていきたく考えです。

## 優待品を購入したいんだけど、 方法はある？



「りんご生果」と「りんごジュース」の通販サイトを立ち上げました。毎回ご好評いただいている株主優待品もこちらのサイトで購入できます。このサイトでは、子会社：(株)農業支援の主要取引先である「岩木山りんご生産出荷組合」によって作られた“葉とらずりんご”<sup>※</sup>を中心に、美味しさと安全にこだわった旬の商品を“HAPPY HAPPY（はっぴーはっぴ）”ブランドとしてご紹介しています。ぜひ、チェックしてみてください。



<sup>※</sup>葉とらずりんご：葉っぱを摘まずに栄養分が充分いきわたるように栽培したりんご

イーサポートリンク／農業支援ともに、ホームページトップにバナーを掲載しています。こちらをクリックしてください。



りんごの通販サイト  
“HAPPY HAPPY SHOP”



りんごの生果については、9月中旬からの販売を予定しております。詳しくは、サイトをご覧ください。

生鮮に特化した当社ならではの強みを活かし、事業活動に邁進してまいります。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



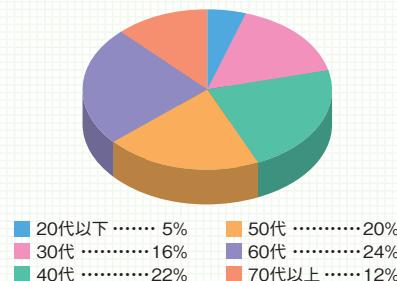
イーくん    サボくん

イーくん・サボくんは、当社のオリジナルキャラクターです。

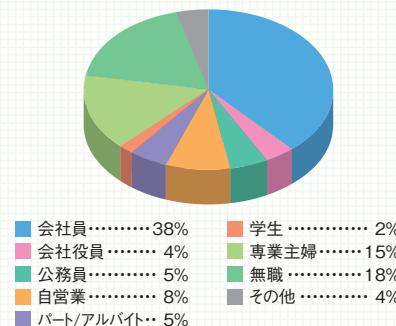
## 株主さまアンケート結果報告

前回、第16期「株主通信」の送付に際して『株主さまアンケート』を同封し、当社の事業や株式に対する意識調査を実施させていただきました。アンケートには、**4,230名**の皆様からご協力いただき、**返信率59%**という高い関心をお寄せくださいましたこと、心より御礼申し上げます。ここにアンケートの結果、ご意見、ご要望につきましてご報告いたします。

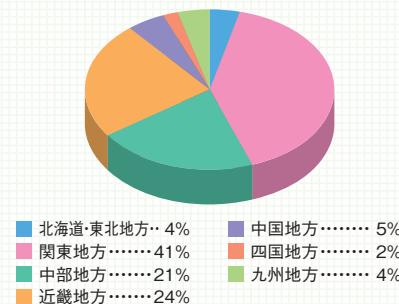
### ■ 年齢



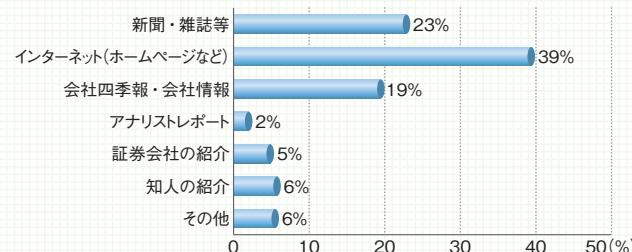
### ■ 職業



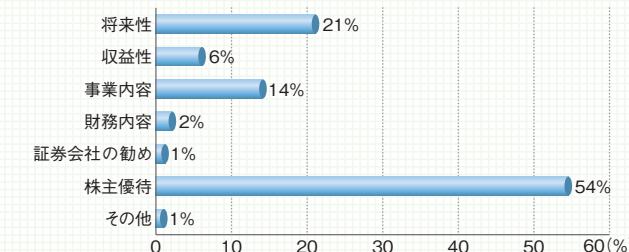
### ■ 居住地



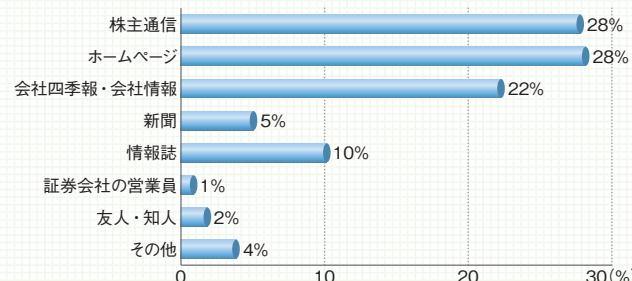
### ■ 当社をどのようにしてお知りになりましたか？



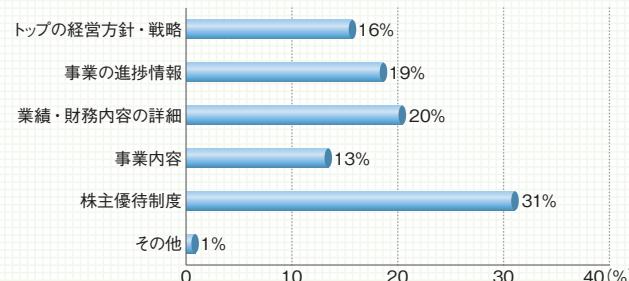
### ■ あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか？ (複数回答)



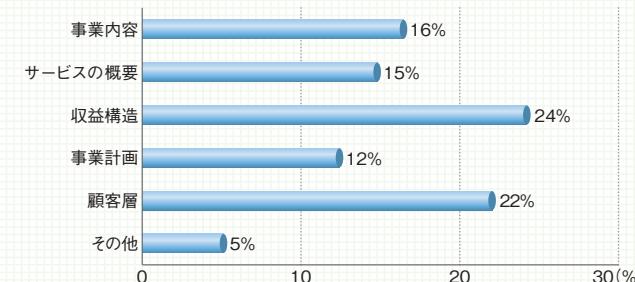
### ■ 当社に関する情報の入手手段は何ですか？ (複数回答)



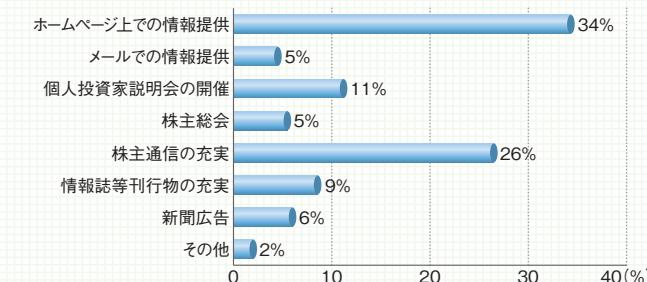
### ■ 当社について知りたいことは何ですか？ (複数回答)



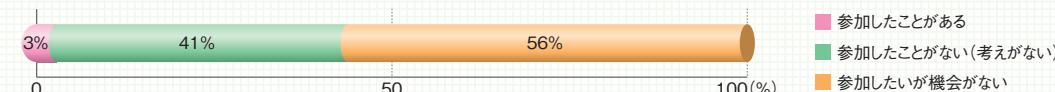
### ■ 当社について、わかりにくいと感じるところは何ですか？ (複数回答)



### ■ 当社のIR活動等に充実を求めるものは何ですか？ (複数回答)



### ■ 当社の個人投資家説明会に参加されたことはありますか？



### ■ フリーコメント

約1,900件のコメントをいただきました。特にご意見の多かった内容から代表的なものをピックアップしてご紹介します。

- IR活動が少ないと思うので、もう少し投資家への活動を行ってほしい。
- 個人投資家説明会に参加したいので、地方でも開催してほしい。
- 株主通信で事業内容をよく知ることができました。今後も充実に期待しています。
- 株価対策をお願いします。
- 財務内容の透明性を望みます。
- 今後も株主優待品の継続と充実を希望します。
- 株主優待が年2回実施されているので、満足しています。
- 年2回の優待品が、内容が違うのは他になく、良いと思います。
- 株式の長期保有者に、株主優待を優遇してほしい。
- 配当の実現を期待している。
- 御社にしかできない特性を生かし、成長することを長期にのぞみます。
- 事業内容に独自性があり、今後に期待しています。
- 今後も食生活に貢献できるよう努力していただきたい。

当社では、株主の皆様からの貴重なご意見を今後の経営やIR活動に反映させるべく努め、企業価値の向上に取り組んでまいります。「株主さまアンケート」は、期末のみ実施いたします。次回の「株主通信」に同封いたしますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

## IR活動報告

当社は、経営の透明性を高めるため、情報開示をはじめ投資家向け説明会を定期的に行っています。

- 2014年1月24日(金) 機関投資家向け「2013年11月期決算説明会」を開催
- 2014年7月23日(水) 機関投資家向け「2014年11月期第2四半期決算説明会」を開催

説明会資料は、ホームページ～「株主・投資家情報」の「IRライブラリー」に掲載しておりますので、ご覧ください。

展示会出展報告

■ 2014年2月12日(水)~14日(金)

『スーパーマーケット・トレードショー2014』に出展



最終日は雪にもかかわらず、大盛況の3日間でした。

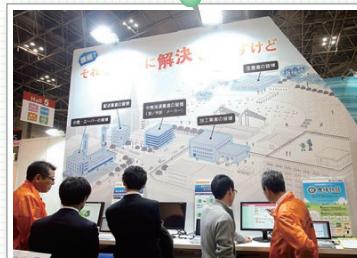
スーパーマーケットを中心とする流通業界に最新情報を発信するプロ向け商談専門展『スーパーマーケット・トレードショー2014』に出展しました。  
(於：東京ビッグサイト/主催：一般社団法人新日本スーパーマーケット協会)

第48回目となる今回は、過去最高の1,402社・団体が出展する大規模な開催となり、スーパー・小売業者を中心に、3日間で合計81,828名が来場しました。

当社は、『課題?それってすぐに解決できますけど』をテーマに掲げ、出展しました。生産者、中間流通業者、小売・スーパーなどの生鮮流通に携わる皆さんは、さまざまな課題を抱えています。それを当社のサービスで解決できることをアピールしました。

『スーパーマーケット・トレードショー2014』開催期間中は、業界を問わずさまざまな方々との新たな出会いがあり、貴重なご意見、ご質問を多数いただくことができました。当社は、今後ともこういった機会を活用して、事業活動を上げていきたいと考えています。

お客様からのご期待に応えられるよう、今後とも努力を続けてまいります。



当社のシステム画面を実際に見ながら、真剣に話を聞く来場者に、スタッフのサービス説明にも熱が入りました。



システム説明を中心に、プレゼンテーションを1日数回に分けて行い、当社事業の理解促進に努めました。



生鮮流通に携わるそれぞれの業態のニーズに合わせたサービスを紹介しました。



ブースへの来場者には、株主優待でおなじみの青森県産100%りんごジュースを振る舞いました。

当社ブースの様子です。

(2014年5月31日現在)

会社概要

商号	イーサポートリンク株式会社 (英字商号 E-SUPPORTLINK.Ltd.)
本社所在地	東京都豊島区高田二丁目17番22号
設立	1998年10月6日
資本金	2,721百万円
従業員	244名(連結) 237名(個別)

役員

代表取締役社長	堀内 信介
取締役	松丸 正明
取締役	仲村 淳
取締役	森田 和彦
社外取締役	村井 勝
社外取締役	下戸 章弘
常勤監査役	伊藤 日出夫
監査役	吉田 茂
監査役	升田 和一

株式の状況

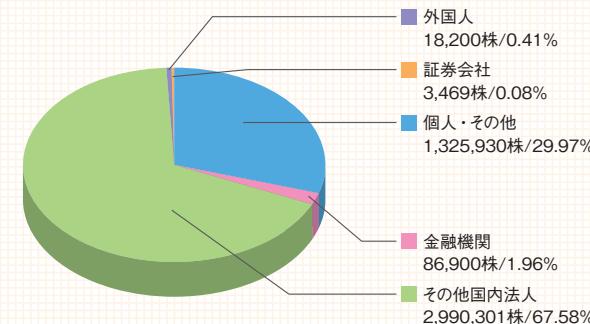
発行可能株式総数	10,700,000株
発行済株式総数	4,424,800株
株主総数	7,287名

大株主一覧表

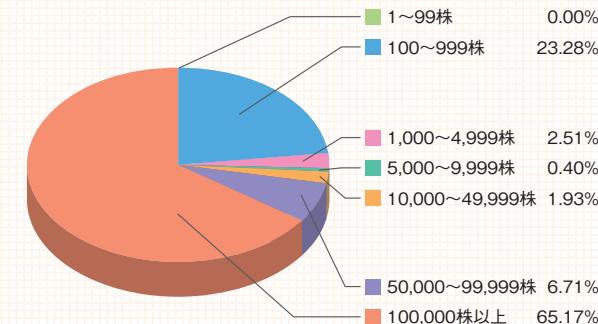
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
フレッシュMDホールディングス株式会社	1,672,800	37.80
株式会社ケーアイ・フレッシュアクセス	333,300	7.53
全日本ライン株式会社	195,600	4.42
ピー・エス・アセット・ホールディングス株式会社	188,300	4.25
株式会社上組	166,700	3.76
東洋埠頭株式会社	111,100	2.51
オリックス株式会社	111,100	2.51
株式会社フレッシュプロデュースドットコム	105,000	2.37
ファルコン投資事業組合	97,800	2.21
堀内達生	70,000	1.58

株式分布状況

所有者別



所有株式数別



# 連結財務諸表

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第17期 (当第2四半期) 2014年5月31日 現在	第16期 (前第2四半期) 2013年5月31日 現在	第16期 (前期) 2013年11月30日 現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	2,929	3,036	3,154
固定資産	1,996	1,830	1,836
有形固定資産	420	475	434
無形固定資産	1,252	1,010	1,076
投資その他の資産	323	345	325
繰延資産	4	3	5
<b>資産合計</b>	<b>4,930</b>	<b>4,870</b>	<b>4,996</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	972	1,362	1,121
固定負債	985	886	1,094
<b>負債合計</b>	<b>1,958</b>	<b>2,249</b>	<b>2,215</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	2,967	2,619	2,778
資本金	2,721	2,721	2,721
資本剰余金	620	620	620
利益剰余金	△375	△722	△563
自己株式	0	—	—
その他の包括利益累計額	5	1	2
<b>純資産合計</b>	<b>2,972</b>	<b>2,621</b>	<b>2,780</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,930</b>	<b>4,870</b>	<b>4,996</b>

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第17期 (当第2四半期累計) 自2013年12月1日 至2014年5月31日	第16期 (前第2四半期累計) 自2012年12月1日 至2013年5月31日	第16期 (前期) 自2012年12月1日 至2013年11月30日
売上高	2,184	2,107	4,225
売上原価	936	1,188	2,382
売上総利益	1,247	919	1,842
販売費及び一般管理費	891	599	1,316
<b>営業利益</b>	<b>356</b>	<b>320</b>	<b>526</b>
営業外収益	14	12	14
営業外費用	9	12	23
<b>経常利益</b>	<b>361</b>	<b>319</b>	<b>517</b>
特別利益	0	0	0
特別損失	0	0	16
税金等調整前四半期純利益	360	319	500
法人税等	172	162	184
<b>四半期純利益</b>	<b>188</b>	<b>157</b>	<b>316</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第17期 (当第2四半期累計) 自2013年12月1日 至2014年5月31日	第16期 (前第2四半期累計) 自2012年12月1日 至2013年5月31日	第16期 (前期) 自2012年12月1日 至2013年11月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	98	409	809
投資活動による キャッシュ・フロー	△151	△205	△346
財務活動による キャッシュ・フロー	△306	△30	△7
現金及び現金同等物の 増減額	△359	172	455
現金及び現金同等物の 期首残高	2,625	2,169	2,169
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,265	2,342	2,625

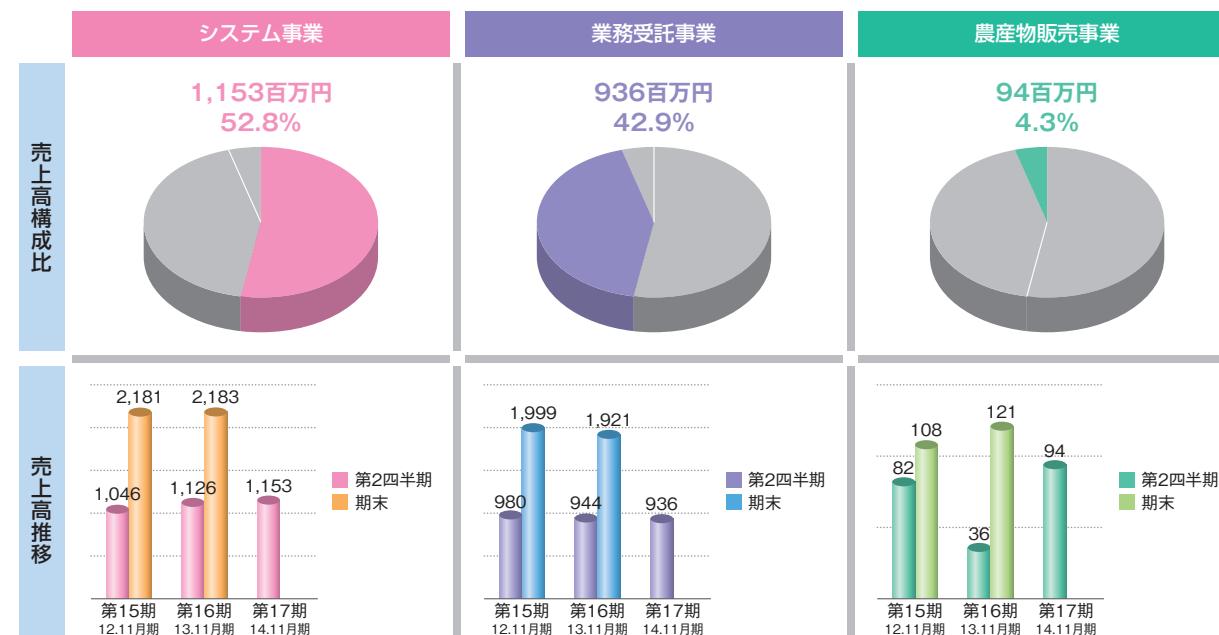
## 四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	第17期 (当第2四半期累計) 自2013年12月1日 至2014年5月31日	第16期 (前第2四半期累計) 自2012年12月1日 至2013年5月31日	第16期 (前期) 自2012年12月1日 至2013年11月30日
少数株主損益調整前四半期純利益	188	157	316
その他有価証券評価差額金	3	0	1
その他の包括利益合計	3	0	1
四半期包括利益	192	158	317
(内訳)			
親会社株主に係る四半期包括利益	192	158	317

## セグメント別概況

(単位:百万円)



## 株主メモ

事業年度	毎年12月1日～翌年11月30日
定時株主総会	毎年2月下旬
基準日	11月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引引きの証券会社等になります	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取り扱い店 (住所変更等)		みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取り扱いいたします*1 みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店*2

\*1：カスタマープラザではお取り扱いできませんのでご了承ください。

\*2：トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。

**公告方法** 電子公告(当社ホームページ)  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

### 住所変更手続きについて

当社株式関係書類及び株主優待等ご送付にあたり、ご引越し等により住所が変更となられている場合、お手元に届かない場合がございます。住所が変更となる際は、大変お手数ではございますが、なるべく早めに当社株式をお持ちの証券会社にて住所変更手続きをお願いいたします。

## ホームページのご案内

当社では、「株主通信」ではお伝えしきれない情報をホームページにて開示しています。株主・投資家の皆様に向けて、決算情報、決算説明資料、PR情報など、タイムリーな情報提供を心がけております。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.e-supportlink.com/>

# イーサポートリンク株式会社

〒171-0033 東京都豊島区高田二丁目17番22号  
TEL：03-5979-0666 FAX：03-5979-0667